

⑩野外炊飯（カレーライス・焼肉）



（活動時間の目安：3時間）

概要	仲間と協力しながら、野外炊飯棟でカレーや焼肉を作ります。			
ねらい	グループで取り組むことで協調性や計画性を養います。また、食材を無駄にすることのないように活動を行うことで、食べ物への感謝を意識させます。			
条件	対象	小学3年生～	人数	10名～200名
	時期	5月～10月	実施判断	落雷時は一時中断
準備物	交流の家(貸出物品)		団体（準備物）	個人（準備物）
	☐ 食器 （箸、スプーン、フォーク、皿、お椀） ☐ 野外炊飯の道具 （羽釜、鉄板、鍋、包丁、ピーラー、まな板、トンブ、フライ返し、ザル、ボウル、しゃもじ、おたま、菜箸、耐熱グローブ、火ばさみ、レンガ） ☐ 食材（有料） ☐ 薪（有料）		☐ 救急セット ☐ 布巾 ☐ 点火用具・新聞紙 ☐ クレンザー（鍋底に塗る用） ☐ スポンジ・食器洗剤 ☐ たわし（金たわし） ☐ 虫除けスプレー等	☐ 長袖、長ズボン ☐ タオル ☐ 軍手（綿100%、ゴム素材がついていないもの）
引率者の役割	団体責任者	・活動の一時中断の決定をします。また活動全体の総括、指揮、連絡をします。 ・安全の確保と事故防止のために引率者の配置を指示します。		
	グループ責任者	・活動前後の点呼を行います。 ・火や刃物を取り扱う場面での適切な管理・指導をします。 （学校では担任が一般的）		
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。		
交流の家職員の役割	・引率者に活動場所と野外炊飯倉庫の場所と説明をします。 ・物品の貸出を行います。 ・貸出物品の返却前に点検をします。			
活動の流れ	【施設入所前に引率者が行うこと】 ・交流の家ホームページにある野外炊飯動画を参加者に視聴させ、事前指導（安全指導・準備確認など）を行います。 ・食材や薪を購入する場合は、入所40日前までに食事申込書を提出します。			
	【活動】 ・団体責任者は開始時間30分前（9：30、14：30）に野外炊飯倉庫で食材の引き渡しに立会います。その後、交流の家職員から用具や活動場所についての説明を受けます。			

	・グループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をします。その後安全面について指導を行います。 ・団体責任者は活動する炊飯棟や野外炊飯倉庫、薪置き場などの場所を参加者に説明します。また、引率者に包丁庫と薪置き場への配置を指示します。 ・引率者は包丁庫と薪置き場で参加者に安全に物品を渡します。 ・参加者は食器や調理器具の数を確認してから食器を洗い、調理を開始します。 ・団体責任者は検食用の検体を採取し、検食袋に入れて野外炊飯棟の冷蔵庫の所定の場所へ提出します。なお、団体で持ち込んだ食材の提出は不要です。 【実施後】 ・団体責任者は点検開始 10 分前に交流の家事務室へ電話し、点検の依頼をします。（お電話を受けた 10 分後に点検を開始します。） ・参加者は使用した食器や調理器具を洗い、布巾で水滴を拭き上げます。燃え残った炭はドラム缶の中に入れます。 ・引率者・参加者は使用した炊飯棟のテーブルや床、排水溝、トイレなどを清掃します。また、ごみは分別してごみ箱に捨てます。 ・参加者は交流の家職員による食器点検後に、食器や調理器具を返却します。返却の際は包丁庫に引率者を必ず配置してください。
安全管理 留意事項	○引率者と参加者は入所前に当交流の家ホームページの野外炊飯動画を見てください。 ○活動は 10 時から 13 時、夕食は 15 時から 18 時までとなります。なお、活動の進行により 18 時を過ぎた場合、または点検が 18 時 30 分までに終了しなかった場合は翌日 9 時以降に点検を受けていただきます。 ○片づけについては、交流の家職員の点検を受けた後に食器や調理用具を野外炊飯倉庫の所定の位置に戻します。 ○活動は 10 名以上の団体に限ります。